

大山街道

見どころマップ

赤坂～三軒茶屋	1A 1B	二子玉川～荻田	3A 3B	長津田～鶴間	5A 5B	厚木～愛甲	7A 7B
三軒茶屋～二子玉川	2A 2B	荻田～長津田	4A 4B	鶴間～厚木	6A 6B	愛甲～大山	8A 8B



1. 赤坂御門から三軒茶屋まで

赤坂御門は、寛永13年(1636)に筑前福岡藩主黒田忠之により柵形石垣が造られた後、道16年に御門普請奉行の加藤正道、小川安則によって完成された門です。

大山街道の起点はこの赤坂御門とする説が有力です。現在はその跡を残すのみとなりましたが、江戸時代の大山詣りには欠かせない重要な出発地点でした。

赤坂御門を出発して青山を過ぎると、渋谷の宮益坂に差し掛かります。往時の宮益坂は富士見坂と呼ばれ、その名のとおり富士山を眺めることができました。頂上付近の見晴らしのよいところには、牛や馬をつなぎ、一休みできる「立場茶屋」があったとされています。

宮益坂、そして道玄坂を過ぎると、相州街道中の四十八坂のうちでも大きな坂である「大坂」があります。この大坂から北へ行くと甲州街道に出ることができました。大坂を下り少し行くと、道標(現在は氷川神社の境内に移されています)があり、かつては交通の要衝として栄えた場所で、道標には「大山路、右めぐろ・品川、左青山」などと彫示されています。

赤坂御門から三軒茶屋までに残る多くの「坂」の名。道往く人々の苦勞が偲ばれる起伏に富んだルートです。

1 赤坂御門跡



江戸城外堀にあった郭門の一つ赤坂御門があった所、寛永13年(1636)筑前福岡藩主黒田忠之により石垣が築かれ、常時3人の見張番がいて「赤坂見附」とも呼ばれていた。相模へ向かう大山街道の起点。

2 弁慶橋



この堀は江戸開府の頃、弁慶小左衛門と云う者が設計、以後弁慶堀と呼ばれ、明治22年(1889)新たに橋が架けられた時、堀の名前に因み、「弁慶橋」と命名されたと云う一説がある。現在の橋は昭和60年(1985)に作られたもの。

3 豊川稲荷



江戸町奉行として有名であった大岡越前守忠相の子、忠宣が赤坂の屋敷内に豊川稲荷を祀ったのが始まり。明治20年(1887)現在地に移転した。豊川稲荷は本来は佛閣、正式には「豊川茶枳尼天堂」。

4 高橋是清翁記念公園



高橋是清は安政元年(1854)、江戸の芝に生まれ、後に日銀総裁、大蔵大臣、総理大臣等の要職を歴任した。昭和11年(1936)所謂、226事件で自宅にて暗殺された。享年83歳。その屋敷地が昭和13年遺族より東京都に寄付され記念公園となる。

5 明治神宮外苑



明治19年、陸軍青山練兵場として利用された所。大正4年(1915)以後10年がかりで洋式庭園として整備、大正15年には聖徳記念絵画館が完成した。青山通りからのイチョウ並木は四季を通じて美しい風景。

6 梅窓院



「青山」の地名は江戸時代のはじめ、徳川家家臣、美濃郡上八幡の青山氏が、この辺り一帯を配領したことによるとも云われ、領主青山幸成の法号に因み「梅窓院」の名前がついた。境内には12代にわたる当主の墓石の他、明治時代の煙草会社岩谷商会の創始者、岩谷松平の特大の墓石が建っている。

7 善光寺



徳川家康の帰依により慶弔16年(1611)に谷中に堂宇を建立し、長野善光寺の一光三尊阿彌陀如来の分身を祀ったのを初めとする。以後信州善光寺大本願上人兼帯所と称した。元禄16年(1703)類焼により、現在地に移転した。

8 明治神宮表参道



大正9年(1920)代々木に明治神宮が創建されたが、その翌年大正10年、ここ青山通りから神宮橋まで表参道として約1kmの歩道、ケヤキ並木がパリのシャンゼリゼ通りを模して誕生した。